

4パーミル運動に 取り組めないか

答 本町の農業に適したものが
農業関係団体等に確認する



大宜見 洋文 議員

問 本町も4パーミル運動に
取り組めないか。4パーミル
運動とは何か説明せよ。

町長 世界の土壌の表層の炭
素量を年間0・4%（4パー
ミル）増加させることで、人
間の経済活動によって発生す
る大気中の二酸化炭素を実質
ゼロにすることができると。こ
の考え方に基づく国際的な取
り組みと理解している。

問 切った枝や樹木の幹を2
年ぐらい放置すれば、それが
枯れ朽ち、土の中に入れれば、
5年から10年ぐらい肥料を入
れなくて済む土壌が生まれる。
学校の樹木の伐採や、公園道

路、自治会の拝所や公園、街
路樹から処分される倒木や剪
定の枝を廃棄物とするのでは
なく、4パーミル運動を展開
して、付加価値をつけるシス
テムに変えてもらいたいがあ
うか。

町長 農林水産省もみどりの
食料システム戦略の実現に向
け、グリーンな栽培体系の取
り組みの一つとして推進して
いることから、本町の農業に
適したものか農業関係団体等
に確認する。

問 捨てている木や草を処理
する事で有効活用できるシス
テムを、大学などの研究機関

や処分を委託している町内の
業者、使う側の農家、意識の
高い町民代表、例えば南風原
エコセンターのスタッフや会
員などを交えて意見交換して、
今後そういうシステムがつく
れるか検討してもらいたい
がどうか。



仮置される伐採した草木等

町長 農業改良普及センター、
またJAの営農指導員等、技
術がある方に農業に適したも
のか、確認していくことが重
要だと考える。

**部活動の地域移行、
その後の経過は**

問 部活動の地域移行、その
後の経過はどうか。

教育長 現在、部活動指導員を
活用し、土日の部活動を教員
の引率がなくても活動できる
ように取り組んでいる。

問 「北九州市部活の未来を
考える会」という有識者から
意見を聴取する検討会議が今
年3回開催され、そのレジュ
メや会議録もネットで見るこ
とができる。是非本町でもそ
のような情報発信、見せ方を
してもらいたい、どうか。
教育長 北九州市の取り組みも
参考に調査研究していく。